

令和3年

第9回 会津美里町教育委員会議事録

5月臨時会

令和3年5月臨時会

- I. 日 時 令和3年5月27日(木) 午前9時00分
- I. 場 所 会津美里町役場 本庁舎 2階 庁議室
- I. 出席委員 教 育 長 歌 川 哲 由
委 員 小 関 れい子
委 員 須 田 健 志
委 員 武 藤 周 一
委 員 明 田 安 弘
- I. 出席説明者 教 育 文 化 課 長 松 本 由 佳 里
教 育 文 化 課 主 幹 兼 指 導 主 事 金 川 純
教 育 文 化 課 主 幹 兼 会 津 美 里 町 公 民 館 長 兼 図 書 館 長 福 田 富 美 代
教 育 文 化 課 長 補 佐 渡 部 雄 二
教 育 文 化 課 長 補 佐 鷺 川 晃
- I. 傍 聴 人 な し

令和3年5月臨時会次第

1. 開会

2. 審議事項

議案第51号 会津美里町学校評議員の委嘱について

3. 協議事項

(1) 令和2年度会津美里町教育委員会点検・評価について

(2) その他

4. 閉会

○開会時刻 午前8時55分

1. 開会

教育文化課長 令和3年第9回会津美里町教育委員会5月臨時会を始めたいと思います。
新しく教育長になりました歌川教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

(教育長あいさつ)

教育文化課長 議事に入りたいと思います。議長は教育長にお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

教育長 それでは、ただいまより令和3年第9回会津美里町教育委員会5月臨時会を始めます。

会期は1日といたします。

出席委員は、委員全員でございます。

出席説明者は、松本教育文化課長、福田主幹兼会津美里町公民館長兼図書館長、金川純主幹兼指導主事、渡部課長補佐、鵜川課長補佐の5名であります。

議事録署名委員は、出席委員全員でお願いをいたします。

2. 審議事項

教育長 審議事項に参ります。

◎議案第51号

教育長 議案第51号でございます。「会津美里町学校評議員の委嘱について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

教育文化課長 (議案第51号「会津美里町学校評議員の委嘱について」説明)

教育長 皆様方からご質問があればお願いをいたします。

委員 前に、学校評議員は本郷小学校だけが2名だったのです。それで、2名だけではないということで3名にさせていただいたのですが、宮川小学校は前3名だったような気がするのですが、ここだけが2名ということなのですか。その辺いかがでしょうか。

教育長 事務局から説明をお願いします。

教育文化課長 確かに宮川小学校は前3名いましたが、それぞれ長くなられたり、年齢を重ねられたということもあり、ご了解いただけたのがこの2名ということで、3名には足りないのですが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育長 規則上は5名以内ということでありませうか。

教育文化課主幹兼指導主事 はい。法令上は問題ないのですが、事前に相談いただひており、なかなか受けていただけないということと、今年度コミュニティ・スクールに進んでいくに当たり、そういったことで受けていただけなかつたとか、来年に関して継続できる方というところで見通しを持って取り組んでいるところもあり、このような形で2名の方にはお受けいただひているところではありませう。

委員 新鶴生涯学習センター長の名前が複数載っているのですが、どういふことですか。

教育文化課長 新鶴生涯学習センター長という立場ですが、新鶴地域は生涯学習センターとのつながりが強いということもあり、小学校、中学校の子供はそれぞれ生涯学習センターの方にお願ひしたりということがあり、以前は公民館長のほかに係長がいたり分散できたのですが、今職員がセンター長しかおらず、あとは会計年度任用職員の方なので、こちらもお相談をいただひていたところではあるのですが、やはり生涯学習センターの関係ということもあつてお願ひしたいというお話がありましたので、こちらにつきましても、次年度に向けてこれから検討していく途中だということもあつたので、こういう形でお願ひしたいということでした。

委員 特に問題はないという。

教育文化課長補佐 はい。

委員 宮川小学校の評議員の方ですが、現役のPTA会長はやれないのでしたっけ。

教育文化課長補佐 いや、そんなことはないです。

委員 ですよ。現役のPTA会長には打診された。

教育文化課主幹兼指導主事 どの範囲で打診をしたかまでは、把握しておらず、まずは学校の考えとして下調べというか、受けていただひけそうなるところを見たときに2名になりそうだとするところしか聞いておりませう。

委員 PTA会長とは、卒業式や入学式でご一緒し、いろいろな話をさせてもらったのですが、前向きに考えておられる方なので、これからコミュニティ・スクール関係を進めていくのにもいいリーダーになるのではないかと思つたので、もしものときは

3名体制のほうがいいような。PTA会長は結構前向きな方かなと、まだお若いですし、すごくいいと思ったので、打診されてもいいのではないかなと思います。

教育文化課主幹兼指導主事 分かりました。それでは、校長に話をし、いろいろと関わっていただくということと、教育委員会でそういう教育委員のお考えがありましたということをお伝えしていこうと思っております。

委員 来年度に向けて、コミュニティ・スクールに向けてであっても、反対するわけではないので、もちろん打診していただいたほうがいいかなと思うのですが、PTA会長は新型コロナで今行事が少なくなっていますが、結構な回数で学校に行かれるので、若いというか、現職であつたらなおのこと。負担がさらに多くなってしまうのかないうところもあるので。

委員 それもあるかもしれませんがね。

委員 そんなところもあるのかと思いながら、来年、令和4年度のコミュニティ・スクールに向けてどんなふうになるのが一番いいのかなというのも必要かなと思います。そんなような事情もあるかなと。

委員 そうですね。それは、個人の事情を伺いながらでいいと思いますが。

教育長 そうしますと、事務局から宮川小に打診はして、教育委員会の中で宮川小だけが2名なので、3名にしてはどうかという意見が出たことをお伝えし、PTA会長など可能な方がいらしたら3名に増やすことも可能ですがという伝え方をしてみると。PTA会長や後援会長、同窓会長などは日頃から学校にお寄りになられるので、あえて評議員とかに選ばなくても常日頃から意見を拝聴できるということで任命していない学校等もあろうかと思いますが、人数が少ないのであれば、打診をお願いしたいと思います。

教育文化課主幹兼指導主事 はい、分かりました。

委員 ほかにご意見、ご質問はいかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 宮川小の件はそのような形で進めることにしまして、その他の学校については事務局の原案どおりに決することにご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ありがとうございます。それでは、提案のとおり議決することといたします。

3. 協議事項

教育長 協議事項に参りたいと思います。
令和2年度会津美里町教育委員会点検・評価について、ご説明をお願いします。

教育文化課主幹兼指導主事 (協議資料の説明)

教育長 今説明をいただいた点検・評価について、関連するところのご意見をいただくという方向性でよろしいでしょうか。

教育文化課主幹兼指導主事 はい。よろしく申し上げます。

教育文化課長補佐 すみません。補足させていただいてよろしいでしょうか。

教育長 どうぞ。

教育文化課長補佐 指導主事から説明がありましたとおり、皆さん今日初めて目にされたと思いますので、ご意見出にくいかと思うのですが、この場でご意見が出れば出していただき、あとは6月2日に点検評価の有識者会議が予定されておりますので、本日意見が出なかった場合は31日までに出していただければと思います。

教育長 時間がタイトな中ではございますが、そのような事務局の発言がございましたので、今お気づきになった点については忌憚なく出していただきたいと思います。
まず、基本施策1、幼児教育の充実についてご審議いただきたいと思います。質疑ございませんか。

委員 ここについては、特に実績として昨年度はコロナ対策が一番だとは思いますが、幼児教育の充実というので結局子供たちの5番目までありますが、遊びを通して子供たちがどのような形で育っているかという点についてはどうなのでしょう。コロナウイルスについては十分に書いてあるのですが、教育については。

教育文化課主幹兼指導主事 教育については、見ているところだとか上がってきた評価を見ると徐々にやり方を変更しながら、最初は保育者がマスクをしていたのですが、最近は、若干感染のリスクは高くはなるのですが、マウスシールドという透明なものを使用しながら接したりだとか、あとは遊ぶ時間、活動する時間を外で活動する時間だとかを増やして、現状のに戻している段階で、今模索している、どれが一番いいのだというところで園も感染状況を見ながら進めている状況でして、答えにはなっていないのですが、新しいスタイルを今検証しているところでございます。

教育長 ウィズコロナの幼児教育の在り方を模索中ということですか。

教育文化課主幹兼指導主事　そうですね。

教育長　遊びの時間や機会が減少し、幼児がストレスを感じたり、育ちに何らかの問題が出ているとか、そういう負の情報は特にございませんでしたか。真っ先に心配されるのは、そういうところだと思いますが。

教育文化課主幹兼指導主事　負の要素は、なかなか見えてはこないのですが、私が一番見るのは保育者の負担感、疲弊感がやはり高い。なかには、支援が必要な子もいたりして、その子に手がかかったりだとかで、指導者に余裕がないなというところは非常に感じておりますので、子供たちもストレスを抱えているのですが、まず気になるのは指導者の負担感が非常に大きいというところでした。ただ、本当に与えられた中で、子供たちは一所懸命活動して学ぼうと取り組んでいるところです。

教育長　そうしますと、事務局説明があったものは評価の黒丸のところで、委員ご指摘のようなコロナ禍の子供たちへの遊びを通じた教育等はある程度模索しながらやっではいるということは読み取れるのですが、負担感であったり、余裕がない、手のかかる子供への支援については別項目で5歳児の相談であったり、様々当局がやっているわけですが、ここに明記するかどうかというところではいかがでしょうか。しなくてよろしいか。

教育文化課主幹兼指導主事　いえ確認をして、追加をして具体的に明記をしていきたいと。

教育長　そういうような事実が懸念される場合には、ここにも明記するというのでしょうか。委員、それでよろしいですか。

委員　はい。その点で、新型コロナの対策をやりながら充実を図ってきたというのは分かるのですが、結局幼児教育の根本というか、5つの具体的なところを挙げているのです。これについてはコロナ禍でなかなか行えない部分はあったけれども、こういうところはよくできたみたいなどころはないのか。結局この文面をみただけでは、コロナで、コロナでとなっているので、では幼児教育に対してはウィズコロナであろうともこういうところはよくできてきたとか、こういうところについては子供の成長、教育については今後やっていかななくてはいけないみたいな、幼児教育の根本における実績と評価というのはどんなものかなと思うのですけれども。

教育長　重点に挙げている5点の中で評価できる部分、あるいは課題として残ったような部分も明記されたほうが良いというご意見だと思いますが、事務局はいかがか。

教育文化課主幹兼指導主事　承知いたしました。私も聞きづらいところもありましたので、電話で聞いたりしながら確認をして、この5点が具体的にどうだったのかというものを追加して表記していきたいと考えております。

教育長 その他、基本施策1についてございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 なければ31日までご意見をいただくことで、基本施策の2に移りたいと思います。自ら学び続ける子どもの育成の項目ではいかがでしょうか。学力向上対策、基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化でありましたらお願いしたいと思います。

委員 特に評価とか実績とかというよりも、ページでいけば右側の基本的な生活習慣で、先ほどメディアのことでかなり大幅に改善されたと説明ありましたが、改善された理由というのか、なぜ極端に変わったかというのは背景や理由については明らかになるのですか。要するに今までいろんな問題がここで議論されましたが、改善されたという言い方はあまり聞かないではないですか。突然この数字が出てきた理由というのは非常に興味があるのです。なぜなのかという背景が。それとも、そういうものなしでこれになったということかその辺は分かりませんか。

教育長 事務局で把握していることも含めて、何か答えるところがありましたら。

教育文化課主幹兼指導主事 その辺につきましては、私も少し気になっており、推測するに子供たちも家庭にいましたが、親も家庭にいたことが大きいのかなというところと、もう学校でこのまま放しては駄目だということで、個別指導を行える範囲でやっていたというところも非常に大きいのかなと思います。あとは、例年メディアについては何回か調査をしているのですが、去年のこの結果は、実は1回きりの調査結果なのです。その取ったタイミングがよかったと言えば申し訳ないのですが。

教育長 時期は分かりますか。

教育文化課主幹兼指導主事 時期は11月後半から12月というところで、中学校でいえば期末テストの直前ぐらい。

教育長 意図的に設定した期間なのですか。

教育文化課主幹兼指導主事 前期はできなかったのですが、後期のその1回に集中したという先生方の説明ですが、1年を通してこうだったかと言われると難しいですが、点で拾った結果とも否めなくはないです。

委員 改善される傾向が継続できるのであれば、おかしいことではありますが、そういう意味ではちょっと参考にならない。これが続くのだったら取組の在り方、先ほど指導主事が言われたように指導があったというなら、それはそのやり方があるでしょうし、結果としてプロセスがマッチできればという話なのですが、あれだけ議

論したものがこんな一遍に改善されたのはどうも何か腑に落ちないというのが正直なところだったので。

教育文化課主幹兼指導主事 一つの指針として、3月に実施されたNRTの結果がどうだったのかというとなんか変わっていない。

委員 分かりました。そういうやり方が何か有効であればいいというのが正直なところなので、ぜひそういう方法を見つけていただきたいです。

教育長 委員からご指摘ございましたので、ピンポイントにある特異点の調査という気もしますので、この数字をそのまま出して要らぬ誤解を招かないかという心配もありますから、その辺は検討していったほうがいいかなというご指摘だと思いますので、背景なり説明できる数字であれば当然載せて、成果として胸を張っていいと思うのですが、そういうティピカルなデータだったら出さないほうがいいということもあると思いますので、ご検討をお願いします。

教育文化課主幹兼指導主事 承知しました。

委員 点のデータかもしれないですが、結果的には改善されていますよね。ただ、こういう数字上で出さなくても、このいいデータがうそではないので、逆に言うと学校とか保護者とか生徒にコロナ禍で家庭学習が増えたのかもしれないけれども、結果的には学習の時間が増え、メディアの時間も減りましたということで褒めたたえてあげて、保護者も協力していただきありがとうございます、生徒たちは非常に充実した家庭学習を送っています、コロナ禍で学校に行けなかったのは残念だけれども、逆に言うと家庭学習がちゃんと定着しているのではないかと。ですから、これが通常の状態に戻ったとしても、これを引き続きやっていきましょう、頑張りましょうと励みにしてあげて、こういうデータありますが、頑張っただけからでも続けましょうというふうにしていい啓発をすればいいのではないのでしょうか、むしろ。この文章からすると、確かにできない材料かもしれないのですが、うそではないデータでもあるのだから、うまく表現して学校、保護者、児童生徒、子供たちにもちゃんと広げて、これからも続けましょうというふうを活用するのはどうでしょうか。

教育長 確かにそういう視点もございますね。今後サボらないように頑張っていきたいと思いますという意味も込めてですね。そういう書きぶりが、もし今委員がおっしゃったようなことでできれば工夫をしていただくということでもよろしいでしょうか。

委員 本町を4年見てきて、学力向上と生徒指導が一番思うところなのですが、学力もそんなに高いほうではないので、実績があっても結局対策みたいな、評価のところなのですが、何を言いたいかというと、例えばもちろん指導主事が一生懸命やられていることは十分承知しています。しかし、町教育指導主事の活用のところでは300回とかそういうのが要るのかなというのと、具体的な数字を挙げたほうが一生懸命や

っているというのは分かるのですが、いかがなものかということと、それから丸のところもあるのですが、町教育指導主事云々と書いてあるのですが、これは指導主事ももちろんのことながら、各校でのいろいろなやり方が功を奏しているところもあるし、また足りないところもあるのではないかなと思うので、もちろん指導主事のところは大事なのですが、各校の取組とかでうまくいったところはなかったのかというようなものが1つと、それからもう一つは荒れているところを私たちも何回か見てきたわけなのですが、そのとき教員の指導の在り方が一つ大きな課題かなと思うのです。例えば生徒指導の機能を生かせないで、自分だけが話していたり、説明したり、授業をしているというところもあるのですが、ですから学力向上対策の充実の一つに今後の課題として研修というか、いろんな意味で研修の数が少なくなっているからこそ授業研究、あるいは小中のつなぎの研修の中で教員の授業に対する研修とか、基本的なことに戻っていくというか、そういうようなことが学力向上対策には必要な、一番大事なところなのではないかなと思うので、そういう視点からも成果とか課題とかもやっていただいて、ある意味では各校の取組状況とかももう少し分かるというようなところの視点も必要かなと思います。

教育長 教員の指導力向上の視点での評価も必要ではないかというご指摘ですが、事務局は何か今の段階でお答えすることはありますか。

教育文化課主幹兼指導主事 研修の方向性として、今までは話し合ったりだとか、そういったところもあったり、あとは知識も経験も豊富な方が指導されたりというところもあるのですが、今後の流れとしてはふくしま学力調査もそうなのですが、教員同士でいい取組を勉強し合う、検証し合う、見たり、話をしたりして、そういった研修方法に変わっていく流れもありますので、先ほど委員が言われたように各学校でいい取組、学校経営とちょっと残念な学校経営、取組だとか、そういったところもあるので、取組状況を検証し合うわけではないのですが、校長先生方のそういう機会も今後必要なのかなと思ってお話を聞きながら考えていたところでした。校長先生方は、自分のところは分かりますが、ほかの学校の様子はどうわさでしか聞いていないところもありますので、校長先生方の研修も今後考えていきたいなというところで、今のところうわさで聞くか、うまくこんな取組されていましたとか、私が情報発信をしていきたいなと思います。

教育長 そういう視点の評価も今お話しいただいたような中身を集約しながら入れるという方向でよろしいですか。
そのほかございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 次ページ、特別支援教育、外国語教育の充実、そしてその次の情報教育の充実まで含めて、基本施策2の残りの部分でいかがでしょうか。

委員 特別支援教育のことなのですが、評価の中で個別の教育支援計画共通様式というか、それをみんなで共通理解して図ってやっていらしたのですよね。

教育文化課主幹兼指導主事 はい。

委員 やっていらっしゃるのですが、そういう様式も昔から比べれば古くなってきている部分があるのかなと思うので、今新しいところで共通理解がさらに深まるような形でそこら辺の検討をしていく必要があるのかなと感じた次第です。

教育長 個別の教育支援計画の様式の検討でしょうか。

委員 様式もありますし、それに対応する仕方なのでしょうが、私は深くは分かりませんが、そこら辺はちょっと課題だと思うので。

教育長 様式の問題、それが様式ということになると結局そこに記載されている内容の問題になりますが、さらに言うとその記載のとおり各学校で実践は行われているかという検証が心配なところがあるということでしょうか。

委員 そうです。やっぱりそれだけそのものが共通理解を図られているのかどうかというような、その充実をもう一回再検討していく必要が今後あるのかなと感じております。

教育長 学校において特別支援教育コーディネーターなどを中心に全教員への理解であるとか、特に中学校は多くの教員がそういう対象生徒を担当する、教科担任で見ることになりますから、そういうことが校内できちんと個別の支援計画に基づいて行われているかという視点も大事にしてほしいということでしょうか。

委員 はい。ありがとうございます。

教育長 事務局、よろしいでしょうか。

教育文化課主幹兼指導主事 承知しました。これをやる組織としては、黒ぼちの推進委員会なのですが、ここが去年は会議が開催されなかったというところもありますので、ここにそういったことも載せるとともに、今年度の推進委員会でご意見を反映できるようにしていきたいと考えております。

教育長 学校における支援計画に基づいた実践がきちんと行われているかという視点も含めてお願いできればと思いますので、よろしくをお願いします。

議長からで申し訳ないのですが、外国語教育推進リーダーはどこに入っているのですか。

教育文化課主幹兼指導主事 昨年は、土地勘もあって高田小と宮川小と本郷小というところで、外国語活動も含めて専科教諭、新鶴小学校だけが専科教諭が入らなかった。理由としては英語を持っている教員がいたということです。

教育長 新鶴小に。

教育文化課主幹兼指導主事 新鶴小に。あとはALTを派遣する会社のほうで日本人というか、そういうALTと担任をつなぐような役割の方もお願いできるということでしたので、昨年度はそのような形で実施をしたところでした。

教育長 これは、県の人事補充の面では高田小と宮川小、本郷小にはそういう加配も含めて推進リーダーが入っているという。

教育文化課主幹兼指導主事 推進リーダー、高田小籍で。

教育長 高田小籍で3人。

教育文化課主幹兼指導主事 1人です。

教育長 この1人が入って、行っているということですか。

教育文化課主幹兼指導主事 曜日に。

教育長 そうでないと週20時間にならないものね。

教育文化課主幹兼指導主事 週24時間にしました。

教育長 委員の皆様方、ないでしょうか。外国語、それから情報教育の項でございますけれども、よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 基本施策の3、「心豊かな子ども」の育成のところでございますらお願いをいたします。

不登校、前年度倍増というお話ありましたが、これについては何か背景的なものはつかんでいるものはございますか。

教育文化課主幹兼指導主事 すごく難しいところなのですが、コロナ禍で逃げ道ができてしまったというか、無理して学校へ行かなくてもいいのだみたいな、そういう風潮が出てきたところと、あと出だしが臨時休業でペースをつかむ前に休みに入ってしまったのでできなかったということと、あとそれを指導する保護者との信頼関係は教員がで

きなかった、できる前に不登校になってしまったというところがあると思います。あと、やっぱり心配されていた学年が非常に増えてしまったなど。注意はしていたのですが、そういったところで今の中3の子供たちは心配がいろいろあったところだったのですが、去年爆発的に増えてしまったというところがあります。

教育長 そういう子供たちの指導対応に対してのQUの活用であったり、そういうところは各学校でしっかりやっつけていってほしいですね、ある程度。

教育文化課主幹兼指導主事 その辺は意識をしてお願いをしていたところでした、園長、校長合同会議でももちろんだんだら増えていくのですが、その増えていくペースが非常に異常というか、例年どおりではないというような形で警鐘というか、注意をしてくださいという呼びかけをお願いしていたところでした。

委員 学年担当教員全員で取り組むローテーション道徳教育でいい評価で書かれていますが、これは全中学校で取り組んだのですか。それとも、どこかの中学校でやって、いい成果が出ていたということの評価であって、今度ほかの小学校に同じような形で取組をさせようというふうに思いもあるのかも含めて、どうなのでしょう。

教育長 では、ローテーション授業についてお願いします。

教育文化課主幹兼指導主事 中心になっているのは、本郷中です。2年前に道徳推進の指定を受けていたこともあって、学校全体で取り組んで非常にいい成果というか、そのスキルというか、進め方だとか取組状況は高田中と新鶴中でも共有できたところでしたが、なかなか昨年度はいろんな人が入ったりだとか、そういったところの気を使うところでもあります。教科担任なので、毎回替わる場所ではあるのですが、一斉にだとか、人が替わるだとか、指導者が替わるだとか、そういったところはちょっと水を差された感があります。それが全てではないですが、一応ノウハウ、スキルは各学校に伝えてはあるので。

委員 ですよね。結構担任の先生、負担の軽減につながっているのはいいことですね。

教育文化課主幹兼指導主事 はい。

委員 もしそういう成果があったときいていいるとすれば町独自に定着することも考えているということですか。

教育長 様々な教員による道徳の授業を受けることによって、子供たちの視点も変わりますし、担任からだけ毎回道徳を受けている生徒にとってはより新鮮な道徳を受けるということで、効果は大きく、ローテーション事業の効果は結構大きい。

委員 確かにいいところですね。悪い先生に当たってしまうかもしれない、逆のケー

スもあるかもしれない。

教育長 これは、書きぶりによるとどの学校でもやっているような取られ方をするかもしれないので、その辺の工夫は若干必要かもしれないです。委員ご指摘のように検討してはいかがでしょうか。

委員 道徳の実績の（２）関連で、天海さん授業をやっているらしいのですよね、毎年事業を。今年は第１回目が明日とお聞きしたのですが、しばらくの間私も行ってみたいななんてつぶやいていたのですが、明日は参加できるのでしょうか。外部からは行けないですか。

教育文化課長補佐 事務局から学校に連絡しますので、大丈夫です。

委員 ありがとうございます。

教育長 では、施策３についてはよろしいですか。

（「はい」の声あり）

教育長 続いて施策４の「健康でたくましい子ども」の育成ということで、食育と肥満の問題等大きな課題だというようなことがございましたが、皆様方からご意見があればお願いしたいと思います。委員、専門的な見地からいかがでしょうか。

委員 いや、自分はあまりできていないのですが、確かに当初教育委員になったときもそんな話があり、いろんなことを考えたことがあったのですが、スポーツ関係が得意な子たちは親も一緒になってやるので、結構運動をしてしっかりやっているのです。ところが、どうしても親が忙しい家にいる、今回のコロナ禍で、本当に在宅で勉強する時間が増えてくるとなると、そうなる子供たちが自分たちで勝手に買物をする、どうしても菓子類が多くなるのです。そうなる、どうしてもバランスが崩れます。とって我々のように裏側に健康被害があるからちゃんとしなければとまで子供たちは思わないので、どうしても好きなものを食べることで油類が多い菓子類が多くなってくると、肥満につながっていることがあるのです。

ですから、コロナ禍で学校に行けないことが非常に難しいのですが、学校の中でお昼休み時間の５分間は皆さん少し運動しましょうとか、ちょっとした合間で気分転換も含めてみんなで運動していくということを逆に言うと習慣化するというか、そうすると休みの日でもこの時間は５分間体を動かしましょうとか、長い時間することはないので、そういったところで少し家の周りを動くようにしましょうとか、外に行って空気を吸う、そういうようなことの習慣化を図ることが大事ではないかと思うのです。どうしても朝２０分間走りなさいと、これは半分強制になってしまい、すごく嫌だとなるので、むしろ遊びみたいな感覚でもいいので、体を動かすことの工夫をされて習慣化するというのは非常に大事ではないかなという気がす

るのです。それが意外と本当に習慣になってくるのです。そこを小学校低学年のうちからさせていくことも一つの工夫ではないかなと思うのです。肥満対策としてはいろいろ考えたのですが、本当に楽しい習慣化といいますか、そういうのを学校のどこかで取り入れて皆さん家に帰ってもやる、休みのときもやるというようなことで繰り返してやってみるということが大事かなと思います。

それが1つあり、あとは健康教育に入るかどうかは別ですが、先ほど施策1で幼児教育はマスクをつけるのが非常に難しいというところもあると思います。でも、今コロナ禍も1年過ぎて、変異種になって感染力が増し、子供の感染も増えているとなると、親もだんだん危機感が出てきたので、今までマスクしなかった子供たちがマスクしているというのでびっくりすることもあったようですから、そんなことも含めると親も意識づけになってきます。これからコロナ禍がある程度収束したとしても、インフルエンザはやはり毎年流行しているのです。予防接種しても流行している。でも、最初のきっかけは子供たちなのです。子供から親へうつって、親から職場にうつっていくということになっていって、毎年そういうのが繰り返されてきたのですが、今年はコロナ禍になってマスクをし、手洗いをし、手指消毒をし、うがいをするというのを励行しているだけでインフルエンザが全く出ていないのです。ですから、これから新しい生活様式といいますか、新型コロナはずっと恐らく人間社会の中にインフルエンザと常に一緒になっていかなければいけないと思いますので、仮にマスクの励行はしなくてもうがい、手洗い、手指消毒、これだけはしっかり公衆衛生上やっていくとインフルエンザもなくなるのです。

ですから、そういったのを新しい生活様式の習慣化、今はマスクしなければいけません、マスクがいずれ取れたとしてもうがい、手洗いはしっかりということを習慣化していくことによってインフルエンザもなくなり、コロナも感染力が落ちていくということがあるので、そういう健康教育の中でもそれをさらに新しい生活様式として取り入れてはどうかかなと思います。その辺少し付け加えておいたらいいかと思います。

教育長 健康教育と食育の推進のところにもそういうところも加味しながら書き加えていただければということですので、ご検討をお願いします。

委員 そうですね。だから、本当に食育でもお菓子類はなるべくという、その辺のところがよく保護者の方にも、そこをしっかりと3度の食事だけで、あとはなるべくそういったお菓子類、おやつ類は健康的なものといいますか、そういったところを親にも話をしていく、啓発していくことが大事だと思います。

教育長 今委員からご指摘のあった最初の部分、幼稚園教育でも問題になりましたが、結局ウィズコロナの中で子供たちが十分体を動かすような教育活動ができない、そういう実態、あるいはそういう中でも各校で努力はしているとか、そういうふうな部分が標語の中には基本的に見えないところがありますから、もし書き加えることができれば、委員の話を受けながら検討されてはいかがでしょうか。

そのほか施策4についてごさいませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、最後の施策5、教育環境の整備充実でございます。これについてはいかがでしょうか。

委員 高田中学校、駅伝が全国的にも有名な、実績を伸ばしていて素晴らしい、すごいなと思っています。しかし、今後要望というか、教育長にも頭の片隅に入れていただけないかなと思うのですが、高田中の駅伝は素晴らしい、全国大会出場。しかし、会津美里町のほかの学校では、何かなといったときに特にはないのです。逆に生活上で荒れていたりとか、ほかの地域から、会津美里町は今荒れているのだなとか、すごく聞こえてくるところもあるので、そういうような小中学校ではいけないと思うので、もう少し小中学校の雰囲気をきちんと整理されてというか、学校経営をされて、子供一人ひとりもっともって能力を発揮できるようなところはあるし、体育だけではなくて、絵とか習字とかいろんな分野で子供たちの潜在能力とか、いっぱい持っていると思うので、そういうのが発揮できるような教育推進がされればなというふうにごく何年か思っているところで、もちろんこれは絶対的に素晴らしいのですが、すごく認めて、そのほかというところで考えているところだと思います。

以上です。

教育長 貴重なご意見ありましたので、頭の片隅に入れながら教育を推進したいと思えます。教員の多忙化解消に併せて、部活動の見直しも全国的にされているところでもありますので、今委員がおっしゃったような子供たちの多様な能力を伸ばす活動なども考えていきたいなと思えますので、どこかにとどめておければと思います。よろしくお願いします。

そのほかございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 では、その次に施策6ですね、大事なところ、地域全体で子どもの教育を支える仕組みづくりのところをお願いいたします。

委員 一番最後、子供たちの安全を地域で支える仕組みづくりとありますが、前教育長がよくおっしゃっていましたが、宮川小学校区でスクールバスが距離的に足りなくて、本当は歩いて行くところがスクールバスを回してほしいとかという話があって、ところが地域の中で近くに公園があって、そこで途中で狭い橋があるのですが、そこを誰かが見守ってくればいいのですが、それがいないから交通事故が起きたらどうするのだ、熊が出たらどうするのだという話でスクールバスという話がありましたけれども、そういうことを考えると本当に保護者同士がなかなかうまくつながらないというところもあるのですが、ところが地域の中で、これから地域で支える仕

組みですので、区長とか、民生委員までいくかどうかは別にしても、そういった形の仲介を得て保護者同士の話し合いでもって、この地域の子供たちをどうやって安全に学校に行かせるかというところでスクールバスを利用させることだけではなくて、やっぱり一緒に登校していく、途中でそういったところで誰かが見守っていくという体制づくり。ですから、地域間の連携を図るための構築といいますか、取組というものをさらに充実させなければいけないような気がするのです。そういうものは評価の中の黒丸になるかどうか分かりませんが、そういったところでの課題として地域間の連携というものを図る体制づくりといったものが必要ではないかなという気がするのです。

前の教育長、非常に頭を悩ませておられて、親はもうバスを回せばいいのだというだけの問題になってくると不公平感も出てくるし、あと本当にバスで通うことがいいのか、昔は遠くても歩いて行くのは当たり前だ、私はそうでしたが、そうすると足腰が鍛えられて、スポーツもすごくいい成績が残せるということがいいふうになっていくのですが、今は逆に言うと守る、保護していくことによって子供たちの自主性がなくなり、楽しめたがるというか、どうしても考え方があまりにも保護されている状況をつくってしまっているということもあるので、それはそれとして一つのスクールバスを通すルールというのが距離の問題もあるので、そこはやっぱり歩いて来てもらうということからするとどういう形が必要なのかということでの理解が必要だと思うのです。それが当事者同士では難しいので、教育委員会の方あたりが関わったりしてうまく構築をする仕組みが必要だなという気がするのです。

教育長 ありがとうございます。今の段階で何かお答えすることはありますか、事務局。

教育文化課長 多分これからの地域学校協働本部事業や、コミュニティ・スクールという部分で地域の方々といろいろお話をする中でそういったことも当然お話ししていかななくてはと思っておりませんが、登校時間帯の近隣のリンゴ農家の防除の時間をちょっとずらしていただいたりとかで、子供たちの安全な通学を確保できるようにということで、地域の方々のご協力はいただいたところですので、見守りとか、そういった部分についても今後地域の方のご理解を得ながらご協力をいただけるようにして持っていきたいと思っております。

委員 そういう意味では、コミュニティ・スクールというのはいいいのです。

教育長 地域学校協働活動がもっと充実して、学校の下校体制もあるのですが、どのような帰し方をするとか、そこは両輪で考えていく必要があると思いますから、よろしくをお願いします。

委員 ずっと気になっているのですが、言葉が先行している部分で、特にコミュニティ・スクールが来年から正式に動くわけですよ。もともと地域もしくは地域間の連携とか、幾つかそこにつながる言葉があるのですが、言葉が先行して実態って各地域の人たちがそれを理解して、では本当にこれが何だというのはそんなまだ理解で

きていないような気がするのです。できていないというか、なかなかそういうふうになってから皆さんが協力するということにはいかないような気がするのです。だから、もう少し行政が主導して何かするというのはもちろん最初は必要でしょうが、コミュニティ・スクールなり、地域学校協働活動ですか、それを含めて言葉ばかり先行するのではなくて、実態がついていけるようなやり方って時間がかかるし、大変かもしれませんが、やっていかなければ、どうしても私は言葉だけ先行しているのではないかなという気がずっとしているのです。それが本当にきちんとした実績として出ていくには、実態として地域の人たちが関わっている姿が見えてこないし難しいと。少し大変かもしれませんが、言葉先行ではない実態としてのコミュニティ・スクール、地域の協働活動も今後もできるわけですが、そういったものが形だけではなくて実態として生かせるようなやり方を本当にこの1年間、もう1年間ないですが、大変でしょうけれども頑張ってもらいたい。これは希望です。

教育長

大きな激励をいただきましたが、委員おっしゃるとおりだと思います。ただ、本当に住民の皆様にはコミュニティ・スクールの本来の趣旨であるとか、意義であるとか、そのために学校ができること、地域で関わっていただきたい、協力いただきたいこととか、そういう基本的なことの理解が進まないとなかなか本当のものになっていかないというところがあると思いますので、地域共働活動が先行していろんな形で各学校にて今行われていると思うのですが、学校経営のプレーンとしての学校運営協議会委員の皆様は本当に学校経営に地域の方の代表として参画していく、自分たちの学校教育は自分たちがつくっていくのだという、そういう認識をどうつくっていくかというところが大きな課題だと私自身も思っておりますので、ぜひ委員の意見を大事にしながら進めていければと思います。本当にありがとうございました。事務局、よろしいでしょうか。

では、そのほかございませんでしょうか。委員の皆様から全体を通して何かございましたら。

委員

先ほど肥満の子供たちで運動不足というところからの自分の観点なのですが、肥満の子の親も肥満というのが、学校に行くとそういうのが見受けられて、なおそこでよく聞くのがやりたくないことはやらなくていいという親の子供に対する意見というか、それが子供は僕はやりたくないからやらないのですと平気で先生に言う流れというか、それが先生、教育者のほうとしては強くやりなさいと言えない。それは私が仕事で学校に行っても、体育の授業とかやりたくないことはやらないというのが当たり前な習慣化になっているという部分も見受けられたりしてしまうので、そのスタートラインというのは本当にこども園時代の運動に対する姿勢とか、その辺から子供は体を動かす、強制的ではないのですが、やる目的、楽しくというところのルールづくりとか、その辺の話をどうやったら子供が体を自ら動かすかというところを見詰めていったらいいのかなというのが1つと、小学校では今朝走っているのですが、マラソンカードみたいなのはあったりはするのですか。昔は、マラソンカードというのがあり、そのカードが目的になって、走った周分だけ塗り詰めていき、ゴールが東京駅とかという感じでいくのです、ずっと。福島県を脱出した、

栃木県に入った、埼玉県に行ったとか、1学期中にゴールを目指すというような、それを比較的楽しみに走る、それで結果的に運動能力の向上というか、肥満解消にもつながっていて、当然運動していけばおなかも減る、給食なんかもしっかり残さず食べるというところにつながっていった部分でもあったので、やはりスタートラインがそういう感じで、ただ朝20分間走りなさい、はい、スタートと言ってもどうしても差が生まれてしまうので、そこはやはり走った分だけは書いてという目的があってというルールづくりではないですが、行っていけば、各学校、小学校だと4つが全部同じようなカードでそこで平均値を出して、どこどこの学校は生徒何人、パーセントが出るので、そこからの肥満データというのも面白いのかななんて思っ
てはいたのですが。肥満が改善できるのではないかななんて思いました。

教育長 自ら体を動かすという動機づけといいですか、恐らく各小学校、中学校でも工夫をされていると思うのですが、なかなかコロナ禍でできなかったところもあるのかなと推測はしますが、何かその辺の情報ありますか、事務局のほうで。

教育文化課主幹兼指導主事 掲示物を今ずっと思い浮かべていたのですが、そういう掲示物がある学校もありますので、そういう見える化だとか、やった時間が見てとれるような、今それは委員がおっしゃられたマラソンカードなどの学校独自の取組について、各学校に話をしながら、やって楽しい実感が伴うような方法の検討をお願いしたいなと思いました。

あとは、若干別件なのですが、中学校でやった共通の単語テストの取組状況は想定外で非常によかったことがあるので、ご報告させていただきます。

教育長 それでは、お休みをいただいてよろしいですか。

休 憩 午前10時29分

再 開 午前10時39分

教育長 再開させていただきたいと思いますが、教育委員会点検・評価について一応ご意見は承ったということで、こちらは終了してよろしいですか。

(「はい」の声あり)

4. 閉会

教育長 以上をもちまして第9回会津美里町教育委員会5月臨時会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

○閉会時刻 午前10時41分